



中学校昼食の

実現へ前進

公明党横浜市会ニュース
横浜市議員(港南区)

安西 ひでとし

横浜らしい中学校昼食の

実現に向けて

公明党横浜市議員団は中学校
昼食について、栄養バランスがと
れ、複数種類から選べ、温もりの
ある民間事業者による弁当を家庭
弁当との選択制で導入するように
要望を続けています。

アンケートで昼食の充実について
ニーズ・要望を探ることなどを説
明した上で、できるだけ早い時期
に横浜らしい中学校昼食の有り方
をまとめていくと明言しました。



新潟市の選択制中学校昼食

5月23日の市会で公明党の尾崎
太市議が中学校昼食について質問
したところ、岡田優子教育長は、
民間事業者が調理した弁当を各中
学校に配達する方法が現実的だと答
弁しました。また、145中学校
を対象に配達した弁当の一時保管
場所や校内搬入ルートなどを調査
することや、児童生徒・保護者・
教職員・一般市民を対象とした

雇用対策

若者や女性、高齢者等の潜在力
を引き出し、失業者の就職支援な
ど雇用拡大に向けた環境整備等を
推進する補正予算が可決しました。

働きながら介護資格を取得でき
るように支援を行うことや、50代・
60代の失業者に対する介護職への
就労支援、また、就労体験先の確
保や就職説明会の実施などのマッ
チング支援の強化等に取り組むも
のです。

子宮頸がん

ワクチン副反応

横浜市が実施する子宮頸がんワ
クチンの接種対象者で、接種後に
副反応があり、市へ相談した結果、



症状の原因が明らかでない方に
ついて、6月から全国で初めて支
策を導入しました。

具体的には、横浜市大附属病院
や市内外の専門病院など横浜市が
指定する病院での治療費自己負担
分相当額と、月3万円強の医療手
当を給付します。

現在のところ、横浜市内での子
宮頸がんワクチンの副反応相談件
数は21人となっています。

子宮頸がん予防ワクチン接種後の 症状に関する相談窓口

健康福祉局健康安全課(相談窓口)
045-671-4190
平日: 8:45~17:15

